

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

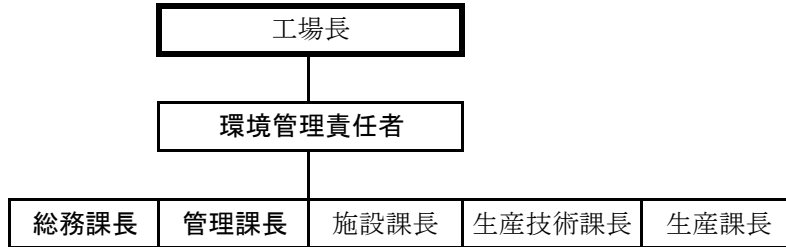
産業廃棄物処理計画書		2019年5月13日
滋賀県知事 殿		
提出者 住 所 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇147-1 氏 名 株式会社ロッテ滋賀工場 執行役員 工場長 佐々木 克真 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0748-46-5411		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	株式会社ロッテ滋賀工場	
事業場の所在地	滋賀県近江八幡市安土町西老蘇147-1	
計画期間	2019年4月1日 ～ 2020年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	①事業の種類	999 : 他に分類されない食料品製造業
	②事業の規模	生産金額 253億円
	③従業員数	239名
	■汚泥⇒中間処理(脱水)⇒【委託】焼却処分⇒(最終)セメント原材料	
	■動植物性残渣⇒【委託】焼却処分⇒(最終)埋立処分 管理型	
■廃プラスチック⇒【委託】破碎・圧縮⇒(最終)固形燃料		
■廃油⇒【委託】油水分離⇒(最終)工業用燃料		

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2018年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	廃油
	排出量（t）	2,624	548	79	4.0
	（これまでに実施した取組） 汚泥・・・脱水設備更新及び水使用削減による発生量抑制 ※平成27年度実績より 汚泥排出量は脱水前の重量・全処理委託量は脱水後の重量に変更 残渣・・・工程内発生量の抑制・再利用の促進（設備改善） 廃プラ・・・工程内発生量の抑制・再利用の促進（設備改善） 廃油・・・メンテナンス方法の検討				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	廃油
	排出量（t）	2,598	543	78	4.0
	（今後実施する予定の取組） 前年度取り組み継続				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃プラスチック： 種類毎に分別し、固形燃料として再利用できるものを分別 動植物性残渣： 種類毎に分別し、有価物として売却
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 前年度取り組み継続

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
①現状	【前年度（2018年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
—				
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	—	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			
—				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
①現状	【前年度（2018年度）実績】			(単位：t)
	産業廃棄物の種類	汚泥		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1,968		
	(これまでに実施した取組)			
脱水設備更新及び水使用削減により発生量抑制				
②計画	【目標】			(単位：t)
	産業廃棄物の種類	汚泥		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量			
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,948		
	(今後実施する予定の取組)			
前年度取り組み継続				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2018年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2018年度）実績】 (単位：t)				
	産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	廃油
	全処理委託量	656	548	79	4.0
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量	656		79	4.0
	認定熱回収業者への処理委託量				
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		548		
	(これまでに実施した取組)				
委託先処理施設の視察					

	②計画	【目標】 (単位：t)				
		産業廃棄物の種類	汚泥	動植物性残渣	廃プラスチック	廃油
		全処理委託量	650	543	78	4.0
		優良認定処理業者への 処理委託量			78	
		再生利用業者への 処理委託量	650			4.0
		認定熱回収業者への 処理委託量				
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		543		
		(今後実施する予定の取組)				
		優良認定処理業者への委託拡大 委託先処理施設の視察 (継続)				
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。